

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員が施設の理念の本質を理解できていない	理念の内容を理解し、理念に沿ったケアの提供ができる	毎月のミーティングと身体拘束・虐待防止研修会の時に、理念を唱和しケアの姿勢を確認し合う 理念に沿ったケアに必要な状態像を話し合い、統一したケアが行えるようにする	3 ヶ月
2	2	報告・連絡・相談がなく、情報の共有が出来ていない	管理者への報告・連絡・相談がタイムリーにできる	何かあった時に管理者にまず報告をして、書類を作成し皆で解決策を話し合う	3 ヶ月
3	3	施設サービス計画書の内容の実施が出来ていない	プラン通りのサービス提供を確実に実施する	ミーティングにより職員がプランを把握し、共通認識を持ってプラン通りのサービス提供を実施する	3 ヶ月
4	4	グループホームとして決まった仕事の決められたルールがあるのに自己流でしか仕事をしない	皆で決めたルールを厳守して統一した介助をする	分からない事はすぐに聞き、分かるまで何度も確認をする。仕事の決められたルールがやりづらいつと感じたら皆で話し合いルールを変更をする、自分勝手にやり方を変えない。	3 ヶ月
5	5	利用者様に声かけをする時に指示的な発言や威圧的な発言がある	本人様の安全を確保し不安を自然な形で解消し、優しい言葉かけで安全な誘導を行い、信頼関係を築く	利用者様と会話の時間を毎日持ち本人様の行動の意味を理解し支援する 一つ一つの状況を皆で確認しながら、新しい介助方法を模索し、情報を共有して統一した介助を実施する	12 ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。